



鳥取大学附属特別支援学校

ふれあいだより



この一年を振り返って

校長 奥野 隆一

高等部の3年生、専攻科の2年生は、4月から社会人として歩き始めます。在校生は、新たな学年に進級します。3月は、巣立ちの時であり、新たな目標に向かって一步を歩む季節です。保護者の方には、子育ての苦労が実を結ぶ時期でもあります。

振り返ってみると、平成22年度はいろいろなことがありました。記憶に残るのは年末から年始にかけての大雪です。雪のため国道に1000台の車が立ち往生しました。近くに住む人がトイレやおにぎりの差し入れなど救援の手をさしのべました。鳥取県の人々の温かい気持ちがニュースを通して伝わってくるとともに、忘れていた、とても大切なことを思い出しました。人が困っているとき、それを自分のこととして感じ、自分でできることを考え、行動することです。鳥取の大雪は、現代日本を象徴する無縁社会を乗り越える力が私たちにあることを教えてくれます。人は人との関わりの中で生きているのだということをも再認識した出来事でした。本校の生徒諸君も、大雪で困った人に手をさしのべた人たちのような心を持ってほしいと思います。

3月行事

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1日(火) 中3を送る会(中) 集金日 | 23日(水) 給食最終日 |
| 3日(木) さよならパーティー(小) | 13:00下校 |
| 修了生を送る会(専) | 24日(木) 修了式・離任式 |
| 4日(金) 卒業・修了を祝う会 | 11:30下校 |
| 高3を送る会(高) | 25日(金)～4月6日(水) |
| 7日(月) 個人懇談 13:00下校 | 学年末・学年始め休業日 |
| 9日(水) 卒業式総練習 お話会 | 4月7日(木) 始業式・着任式 |
| 10日(木) 卒業式・修了式前日準備 | 4月11日(月) 入学式 |
| 給食有り 13:00下校 | |
| 11日(金) 卒業式・修了式 | *5日(土)～7日(月) 鳥取大丸にて |
| 11:30下校 | 児童福祉展が開催されます。中・高等 |
| 卒業・修了祝賀会(懇話会) | 部本科の作業作品が販売されます。ぜひ、お出かけください。 |
| 18日(金) 校外学習(中1・2年 | |
| 高1・2年) | |



専攻科の紹介

専攻科主事 西尾 敏枝

高等部専攻科設置から5年目が終わろうとしています。これまでに11名の修了生を送り出し、今年度も2名が社会へ巣立とうとしています。

専攻科のめざす生徒像は、「社会への関心を持ち、様々な人と関わりながら、積極的に社会へ参加しようとする青年 ～まずやってみよう 自分を見つめ 広い社会へとびだそう～」です。青年期の自分づくりの支援を意識しながら、今年度も様々な活動に取り組んできました。

「くらし（健康）」では、毎朝9：10～10：00ウォーキングに出かけます。ウォーキングリーダーが提案して決めた行き先を「散歩」よりも早いウォーキングのスピードで歩きます。手を振りしっかり歩くと身体が温かくなります。1年間続けることで体力もつき、休日のウォーキング大会参加のよい練習になります。毎週木曜日の午前中は、「くらし（食）」です。毎週木曜日は給食がカットしており、自分たちでスーパーマーケットへ材料を購入しに行き、昼食を作ります。1週間はレシピを決めたり材料を確認したりします。2週間は実際に調理をし、反省をします。仲間同士で意見を言い合い、次にどう修正するかを確認します。3週目では、反省をもとにもう一度同じメニューに挑戦します。ちなみに最近の調理は「鍋」でした。一人ずつがインターネットや本を調べて自分の作りたい「鍋」を決めて一人一鍋作ります。「しゃぶしゃぶ」「すき焼き」「カレー鍋」「キムチ鍋」「おでん」などでした。「こんにゃくを三角に切るのが難しかった。」「糸こんにゃくを切っていなかった。」などの課題が出、次回には修正して作りました。「くらし」では、グループホーム体験や専攻科合宿、研修旅行等の単位を通して社会参加の仕方や人との関わり方を学びます。全国専攻科研究集会は全国持ち回りで開催され、専攻科生も毎年参加しています。今年度は滋賀県でありました。研修旅行に出かける前には、専攻科生全員で話し合ったり仕事を分担したりしながら計画を立てます。宿泊ホテルを自分たちで予約したり集会での学校紹介・鳥取紹介を練習したり、ロールプレイをしてコミュニケーションの練習をしたりしながら準備をすすめていき、当日を迎えます。「集会では少し緊張したけど、全国の仲間と話ができた。」「自己紹介が自分からすすんでできた。」などの感想を持ち、仲間づくりができたようです。

「研究ゼミ」では、一人一テーマを持ち、県立図書館の本やインターネット、人によっては実際に現場にでかけてのインタビューなどで研究をまとめています。発表の仕方はパソコンのパワーポイントを使っています。研究してわかったことを1枚1枚の画面に表現し、丁寧に作成していきます。今年度は2月28日に発表会をしました。緊張しながらも、自信を持ってみなが発表しました。

その他、専攻科には、休日の過ごし方を学ぶ「余暇」や1日通して働く「労働」、将来の生活に必要な知識を学ぶ「教養」などの時間もあります。

このような学習をしながら、専攻科では1年間を過ごしていきます。専攻科の紹介をする際、お話している3つのポイントがあります。それは、①自分で・自分たちで 七転び八起き ②見守り支援 ③人との関わりです。自分で、自分たちで考え、悩んで問題解決するプロセスを大切にしています。そして、大人は、生徒に任せる、見守る（心配して先回りをしない）ように支援していきたいと思います。